

令和5年度 学校評価一覧シート

愛知県立半田工科高等学校

項目担当	本年度の重点目標	(1)生徒個々の能力の向上を図る。 (2)地域への情報発信をより高め、開かれた学校づくりを推進する。 (3)組織内で相互理解を深め、協力体制を構築する。 (4)校務の効率化、適正化を推進し、業務改善を図る。	
	重点目標	具体的方策	中間評価
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAとの連携を深める ・式典行事の円滑な運営 ・防災教育の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動の活性化に努める。また、PTA活動等の案内について、メール配信等を積極的に活用する。 ・職員間の協力体制を整え、式典行事に取り組む。 ・防災意識の向上につながる防災訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全メール等を活用し、PTAと密に連携して取り組んでいる。 ・多くの職員と相談し、協力していただきながら実施することができている。 ・4月には火災、9月には地震を想定した防災訓練を実施した。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上 ・広報活動の充実 ・学科選択、科目選択の十分な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の工夫改善を図り、生徒の学習意欲を高める。 ・中学校の進路説明会や、地域交流を通じ本校の魅力を発信する。 ・生徒の適性および進路先に応じた学科、科目選択ができるように校内連携を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の成績不振者に対し、補習・追試験の事前指導を実施した。 ・基礎学力を高めるため、4月に1・2・3年生に対し基礎力診断テストを実施した。 ・8校の中学校で進路説明会を実施した。また、運営委員による中学校の訪問を実施した。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的行動の確立 ・安全・安心な学校生活の実現 ・基本的生活習慣の確立 ・いじめの未然防止、早期発見、適切な対処 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時において挨拶の励行、みだしなみ確認、事故防止に配慮した自転車の乗り方指導を実施する。 ・人権に関する指導の充実と交通事故の防止及び薬物乱用防止に努める。 ・生活アンケートを利用した情報収集と、家庭や地域社会との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期は当番教員及び生徒指導部において登校時に、正門・西門にて挨拶励行、みだしなみ確認を実施した。 ・6月に交通安全講話、7月に薬物乱用防止講話を実施した。 ・5月末に全校生徒に対し生活アンケートを実施し、いじめ等の実態把握に努めることができた。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の高揚 ・自分に合った進路選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の目標を持たせ、自己実現に必要な能力を伸長できるように援助する。 ・勤労観・職業観を育成するため、進路への知見を広めさせる情報提供をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生時の進路指導講話から、系統した説明会を実施し、進路希望予備調査を3度行った。 ・卒業生による職業指導講話や企業説明会など、社会で活躍する方々の話を聞く機会ができた。

	重点目標	具体的方策	中間評価
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> 健康意識の向上 感染症の予防 生徒相談体制の充実 校内美化・環境整備の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断，保健講話，毎日の健康観察を通じて健康への意識を高める。 教室の換気，手指消毒，加湿器等の適切な使用を通じて感染症等の予防に努める。 スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカー，担任，相談係と連携し，教育相談体制の充実を図り，情報を共有し問題解決に取り組む。 清掃を毎日全員で実施し，ごみの分別と減量を図り，校内美化・環境整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断を7月までに終了し，治療勧告書を配付できた。健康観察の提出はほぼ100%であった。 環境衛生検査を実施し，衛生指導に気を配った。 5月に教育相談委員会を行った。カウンセラー来校日に担任との会議，ソーシャルワーカーとは月に1回電話連絡を行い，情報共有を行うことができた。 改修工事の関係で清掃場所・監督の変更を行った。
図書情報部	<ul style="list-style-type: none"> 図書館利用者の向上 校内のICT強化 広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館だより」を通じて本や企画の紹介を行い，図書館利用を呼びかける。 ICT機器を各教室に設置をし，授業展開のICT化を図る。 宣伝資料の作成やホームページを更新し，中学校の教員や生徒および保護者，企業関係者に積極的にPRする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館だより」は4月から7月まで毎月1回発行しており，貸し出し利用者は増加傾向である。また，自習場所としての利用も増えている。 タブレット端末は，各家庭へ持ち帰り利用することが可能である。また，教室へのICT機器の設置は調整中である。 宣伝資料の作成，ホームページの更新は，随時行っている状況である。
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の充実 部活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 執行部の生徒と企画について話し合い，時代や生徒の実情に応じた内容とする。 体験入部期間を設けて3年間活動する部活動を真剣に考えると同時に，校内，校外への情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に生徒会執行部と話し合いを重ねて体育祭，文化祭の実施要項を作成した。 体験入部を実施したことで多くの生徒が部活動の見学を行った。
工務部	<ul style="list-style-type: none"> チャレンジ精神の育成 中学生体験入学の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 資格の情報を正確に素早く提供し，資格取得に対し前向きに取り組む姿勢を育てる。 体験入学の案内や実施方法を検討し，中学生が興味を引く内容を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に資格検定年間行事予定をホームページに掲載，その後，個別に検定試験の案内等をホームページで発信した。 8月8日に中学生体験入学を実施し，約450人の中学生，保護者に対し本校の魅力を発信した。

	重点目標	具体的方策	中間評価
ロボット工学科	<ul style="list-style-type: none"> ・工業人としての意識付け ・ロボット工学において必要となる知識の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習・課題研究や座学の授業，定期考査を大切にす。そのため授業の開始時間の厳守や，あいさつ，正しい言葉遣いをはじめとした授業規律を確立し，自ら学習できる環境を整える。 ・協働ロボットの制御や，シーケンス制御などをはじめとした，『設備設計・製作』の考え方を基本とし，日々の授業で力を身に付けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の点呼やスピーチを通して，あいさつや社会人としての心構えを身に付けさせることができた。 ・ロボット制御，シーケンス実習を通じて，制御の楽しさを伝えることができた。
機械科	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組む態度の醸成 ・工業人としての意識の向上 ・学習内容の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習・製図や資格・検定や就業体験などの体験を通し，専門学習に力を入れる。 ・安全教育、5S活動など工業の現場で重要視される事柄の定着を図る。 ・授業・実習の連携した展開を進める。座学内容を精査し重複を避け，力点を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習にしっかり取り組み，旋盤技能検定，インターンシップ，クラフトマンⅢなど課外での活動により専門性を高めることができています。 ・安全第一の定着のため，実習集合時の生徒スピーチで安全を呼びかけるようになった。 ・座学と実習の関連付けを進めている。特に製図では加工方法を理解して書けるようにしたい。
電気科	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の充実 ・職業人としての資質の育成 ・魅力ある学科づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や資格取得の補習を通して，基礎学力及び電気に関する知識と能力を高める学習指導をする。 ・積極的に生徒へ寄り添い，規範意識の育成，挨拶の励行，正しい言葉遣いを実践しコミュニケーション能力の育成を図る。 ・競技大会や地域イベントに積極的に参加し，生徒が活躍できる機会を提供し外部へ発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数による授業展開や資格取得の補習を通して，多くの生徒が電気に関する知識と技能を高めることができています。 ・いろいろな場面で積極的に生徒へ声がけをすることで，コミュニケーション能力の育成を図ることができています。 ・競技大会は優秀な成績を収めることができた。また，中学校体験入学は生徒主体で行うことができた。
建築デザイン科	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の充実 ・専門科目への学習意欲向上 ・キャリア教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生体験入学や，かわら版をとおして学科の魅力を発信する。 ・生徒が達成感を得られるよう指導内容を工夫改善する。 ・建設業の魅力を伝え，卒業で受験資格が得られる二級建築士に挑戦する生徒を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験入学は参加者の35%が興味を持ったと回答があり魅力を発信できている。 ・人気の城郭の模型製作やBIM実習など新しい内容に挑戦している。 ・2年生と3年生に対して二級建築士に挑戦することに対する意識調査を定期的に行い，考える機会を設けている。
都市工学科	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業において必要となる知識の習得 ・基本的な生活習慣の育成 ・地域社会との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎，基本を重視し，就業を意識した授業展開を実施する。 ・礼儀，はじめ，正しい言葉使いを教え，社会人としての心構えを教授する。 ・地元企業を中心とした繋がりを大切に，現場見学会，出前授業等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通じ，学習内容と仕事との繋がりを伝え，就業に対する意識を向上させることができています。 ・社会において，礼節が大切であることを教え，普段より，細やかな指導ができています。 ・インターンシップ，現場見学会の実施ができた。11月には，出前授業を予定している。

	重点目標	具体的方策	中間評価
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> ・規律の確立 ・資格取得の励行 ・学科選択の適正化 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの活動における声掛けやコミュニケーションを取りやすい関係を作りながら指導する。 ・授業や補習を通して、自学自習できるよう指導する。 ・実習や座学を通して、工業への興味関心を高め、個々の能力にあった学科選択の指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣は、ほとんどの生徒が身に付けた。自ら挨拶をすることを引き続き指導する。 ・各クラスの学級委員を中心に計算技術検定3級の補習を実施した。 ・学科選択説明会を行い、学科選択への意欲を向上させた。9月には面談を実施した。
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に対する意識の高揚 ・生徒個々の学力の向上 ・自ら考え主体的に行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部と連携をはかり、ガイダンスの充実や職業や学問に対する理解を深め自己実現ができるように援助する。 ・授業や補習の工夫改善を図り、生徒の知識と能力を高めるよう指導する。 ・時と場所に応じて適切な行動がとれるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部と協力会社との連携を取り、生徒に適した講話の計画を行っている。 ・目標を持って取り組む姿勢を身に付けさせるため、資格取得に向けて支援することができた。 ・社会人としてのモラルやマナーを学校生活や修学旅行などを通して伝えることができた。
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識の習得 ・適正な進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・最高学年としての意識付けや、修学旅行での行動を通して、社会人として必要なマナーやモラルを高める。 ・面談や進路指導講話等を通して、生徒の特性を理解し、適切な進路指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行前後の学年集会や、面接に対する心構えの指導を通して、生徒の規範意識を高めることができた。 ・生徒の希望と特性を照らし合わせた進路指導をすることができた。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立について ・学校行事、部活動の充実・発展について ・資格取得の推進について ・学校いじめ防止基本方針に基づく取組について ・在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努めることについて 	